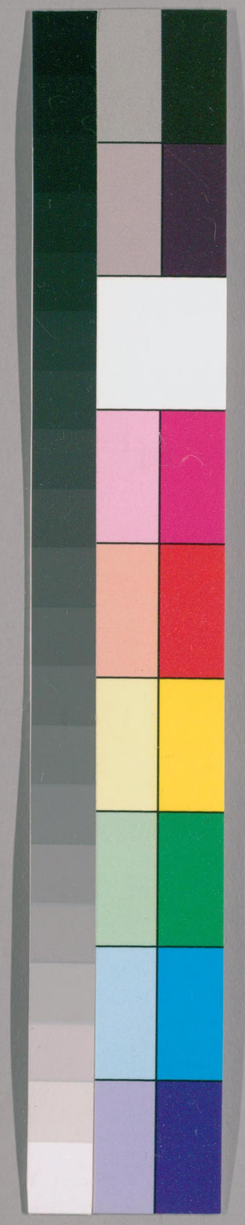
857
47
取扱注意
帙入



国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』 請求記号 857-47

ガラス使用

萬葉集卷第八

長六首 短二百廿六首 旋頭歌四首 合二百卅六首

春雜歌

志貴皇子懽御歌一首（シキノミコノヨロコビノミウタ）

鏡王女歌一首（カガミノオホキミノミウタ）

駿河采女歌一首

尾張連歌二首（オハリノムラジ） 名闕

中納言阿倍廣庭卿歌一首

山部宿禰赤人歌四首

草香山歌一首

櫻花歌一首并短歌

山部宿禰赤人歌一首

大伴坂上郎女柳歌二首

大伴宿禰三林（ミハヤシカ）梅歌一首

厚宅
原見王歌一首

大伴宿禰村（仲神護景雲二年等可考入）上梅歌二首

大伴宿禰駿河麻呂歌一首

中臣朝臣武良（ムラ）自（ジ）歌一首

河邊朝臣東人（アツ）歌一首

大伴宿禰家持鶯歌一首

大藏少輔丹比屋主（ヤヌシ）真人歌一首

丹比眞人乙麻呂哥一首 屋主真人之子也 第二

高田女王（ヒメミコ）歌一首 高安王（或手仲之女也）

大伴坂上郎女歌一首 哥（至歌題如此仍可考正）

大伴宿禰家持春鴈（ナイ）歌一首 春（キヽス）

大伴坂上郎女歌一首

春相聞

大伴宿禰家持贈坂上家之大嬢歌一首

大伴田村家毛大嬢與妹坂上大嬢歌一首

大伴宿禰坂上郎女歌一首

笠女郎贈大伴家持歌一首

紀女郎歌一首名曰小鹿

天平五年癸酉

春閏三月笠朝臣金村贈入唐使歌一首并

短歌

藤原朝臣廣嗣櫻花贈娘子歌一首

娘子和歌一首

厚見王贈久米女郎歌一首

久米女郎報贈歌一首

紀女郎贈大伴宿禰家持歌二首

大伴家持贈和歌二首

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

大伴家持贈坂上大嬢歌一首

夏雜歌

藤原夫人(オホトジ)歌一首

志貴皇子御歌一首

弓削皇子御歌一首

小治田廣瀨王(ヲハリダノヒロセノオホキミ)霍公鳥歌一首

沙彌霍公鳥歌一首(三方沙弥)

刀理宣令(トリノフヨシカ)歌一首

山部宿禰赤人歌一首

式部大輔石上堅魚(イソノカミノカツヲ)朝臣歌一首

太宰帥大伴卿和歌一首

大伴坂上郎女思筑紫大城山(オホキノヤマ)歌一首

大伴坂上郎女霍公鳥歌一首

小治田朝臣廣耳(ヲハリダノアソミヒロミミ)歌一首

大伴家持霍公鳥歌一首

同家持橘歌一首

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

同家持晩蟬歌一首

大伴書持歌二首

大伴清縄歌一首

大伴坂上郎女歌一首

大伴家持唐棣花歌一首

同家持悵霍公鳥晩喧歌二首

同家待懽霍公鳥歌一首

同家持惜橘花歌一首

同家持霍公鳥歌一首

同家持雨日聞霍公鳥喧歌一首

橘歌一首 遊行女婦

大伴村上橘歌一首

大伴家持霍公鳥歌二首

同家持石竹花歌一首

惜不登筑波山歌一首

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

夏相聞

大伴坂上郎女歌一首

大伴四繩宴吟歌一首

大伴坂上郎女歌一首

小治田朝臣廣耳歌一首

大伴坂上郎女歌一首

紀朝臣豊河歌一首

高安歌一首

大神女郎贈大伴家持歌一首

大伴田村大嬢與妹坂上大嬢歌一首

大伴家持攀橘花贈坂上大嬢歌一首 并短歌

同家持贈紀女郎歌一首

秋雜歌

岡本天皇御製哥一首

大津皇子御歌一首

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』 請求記号 857-47

ガラス使用

穗積皇子御歌一首（二巻私）

但馬皇子（女仲）御歌一首

山部王（オホキミ）惜秋葉（ニ）歌一首（ヲ）

長屋王歌一首

山上憶良七夕歌十二首

太宰諸卿（二千キムタチ）大夫并官人等宴筑前國蘆城驛（アシキノムラ）家（ヤ）歌二首

笠朝臣金持（村度）伊香山作歌二首（カ）

石川朝臣老夫（ラフヒト）歌一首

藤原宇合（師仲）卿歌一首

縁達師（ヨリエキノシ）歌一首

山上臣憶良詠秋野花（ニ）歌二首（ヲ）

天皇御製歌二首

太宰帥大伴卿歌二首

三原王歌一首

湯原王七夕歌二首

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

市原王七夕歌一首

藤原八束歌一首

大伴坂上郎女晩芽子歌一首

典鑄正紀朝臣鹿人至衛門大尉大伴宿禰稻公跡見庄作歌一首

湯原王鳴鹿歌一首

市原王歌一首

湯原王蟋蟀歌一首

衛門大尉大伴宿禰稻公歌一首

大伴家持和歌一首

安貴王歌一首

忌部首黒麻呂歌一首

故郷豊浦寺之尼私房宴歌三首

大伴坂上郎女跡見田庄作歌二首

巫部麻蘇娘子鴈歌一首

大伴家持和哥一首

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

上 オキノ十カエタカムスメノ
日置長枝娘子歌一首
大伴家持和ス歌一首 ノカトメカ
同家持秋歌四首
藤原朝臣八束歌二首
大伴家持白露歌一首
大伴利上歌一首 トレカミ
右大臣橘家宴ス歌七首 ノ
橘宿禰奈良麻呂結集宴歌十一首 作者十人

大伴坂上郎女竹田庄作歌二首
佛前唱歌一首
大伴宿禰像見歌一首 カタミカ
大伴宿禰家持到娘子門作歌一首
同家持秋歌三首
内舍人石川朝臣廣成歌二首 ウトネリ
大伴宿禰家持鹿鳴歌二首
大原真人今城傷惜寧樂故郷歌一首 イマキ イタミアヲニヨシ

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

大伴宿禰家持歌一首

秋相聞

額田王思近江天皇作歌一首

鏡王女作歌一首

弓削皇子御歌一首

冊比真人歌一首　名闕

冊生女王贈太宰帥大伴卿歌一首

笠縫女王歌一首　六冊人部親王之女也田形皇女

石川賀係女郎歌一首

賀茂女王歌一首

遠江守櫻井王奉天皇歌一首

天皇賜報和御歌一首

笠女郎贈大伴宿禰家持歌一首

山口女王贈大伴宿禰家持歌一首

湯原王贈娘子歌一首

大伴家持至姑坂上郎女竹田庄作歌一首

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

大伴坂上郎女和歌一首
巫部麻蘇娘子歌一首
大伴田村大嬢與妹坂上大娘秋稻纏贈大伴宿禰家持歌一首
大伴宿禰家持報贈歌一首
又報贈著脫衣裳家持歌一首
大伴宿禰家持攀折藤花并芽子黄葉二物贈坂上大嬢歌二首

同家持贈坂上大嬢歌一首并短歌
同家持贈安倍女郎秋歌一首
同家持從久邇京贈留寧樂宅坂上大嬢歌一首
或者贈戯歌二首
尼作頭句并大伴宿禰家持所誂尼續末句和歌一首

冬雜謌

舍人娘子雪歌一首

太上天皇御製歌一首

天皇御製歌一首

太宰帥大伴卿冬日見雪憶京歌一首

同卿梅歌一首

角朝臣廣辯雪梅歌一首

安倍朝臣奥道雪歌一首

若櫻部朝臣君足雪歌一首

三野連石守梅歌一首

巨勢朝臣宿奈麻呂雪歌一首

小治田朝臣東麻呂雪歌一首

忌部首黒麻呂雪歌一首

紀少鹿女郎梅歌一首

大伴宿禰家持雪梅歌一首

御在西池邊肆宴歌一首

大伴坂上郎女歌一首

池田廣津娘子（ヲサダノ官ニ在他田ニ）（カヅラノ）梅歌一首

縣犬養娘子（アカタノイラツメ）（カヒノオトメノ）依梅發思哥一首

大伴坂上郎女雪歌一首

冬相聞

三國真人人足（ヒトタリ）歌一首

大伴坂上郎女歌一首

和歌一首

藤原皇后奉（ニ）天皇御（ニ）歌一首

池田廣津娘子（カ）歌一首

大伴宿禰駿河麻呂歌一首

紀少鹿女郎歌一首

大伴田村大嬢與妹坂上大嬢（一娘宜）（二）歌一首

大伴宿禰家持歌一首

春雜謌

當集相聞ヲ載スルト雖モ故春ノ雜歌ト云

志貴皇子懽御歌一首

（天智皇子ノ六帖云カ、三ノ皇子ノ誤ナリ）

ワラビノモエイヅルハルニナリニケルカモ

（津國豊嶋郡ニアリ此皇子ノ時ハ京ハナケレドモ何トテ・ーヲメルニヤヨロコビニ故アルヲ以テノ十二丁又才十三モ

激垂見之上乃左和良妣乃毛要出春爾成來鴨

新古春上タルヒノ誤ウヘノ

サワラビノカハ日ヲ含手早ヲヲ何ニテモワカト云ヲ

七ノ十二十六丁

鏡王女歌

神奈備乃伊波瀬乃杜之喚子鳥痛莫鳴吾戀益

（建保百首家隆神ナビノイハセノモリノイハレヲ〳〵我コヒマサルヲノ音モウシ早蕨カノ人トナ思ワキソトユヅリ玉ヒシ心ヲキテラモスコシハカノメリキヨ立玉ヘトイハセノモリノ呼子鳥メイメリシ）

駿河采女歌一首

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

萬葉集卷八

大伴宿禰家持春苑紅桃花歌一首

大伴田村大嬢與妹坂上大嬢歌一首

大伴宿禰家持贈坂上大嬢歌一首

大伴宿禰家持悲傷亡妾歌一首

大伴宿禰家持悲傷亡女歌一首

春雜謌

當集相聞ニアラヌトスル故春ノ雜歌ト云

志貴皇子懽御歌一首

（天智皇子ニ六帖ニカミノ白王子ト

イハソヘクタルミ　ウヘノサワラビ

七ノ二十二オ

激垂見之上乃左和良妣乃毛要出春爾成

（津國豊嶋郡ニアリ此皇子ノ時ハ京ハナケレシヲ何トテ・・ヲヨメルニヤヨロシカラス故アルヲヤ

タルミトアリ新古今ニタルヒトアリ大ニ誤ヘ

來鴨

ケルカモ

新古春上タルヒノ（誤ヘウヘノ

鏡王女歌

神奈備乃伊波瀬乃杜之喚子鳥痛莫鳴吾戀益

カミナビ　イハセ　モリ　ヨフコトリイタクナナキソワガコヒマサル

建保百首家隆神ナビノイハセノモリノイハヽヌ我コヒマサルヲノ音モウシ

早蕨カノコトナト思ワキントユツリ玉ヒシ心ヲキテラモスコシハカノメリキコエ玉ヘトイハセノモリノ呼子鳥メイメリシ

駿河采女歌一首

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

アワユキカ　ハダレニ　フルト　ミルマデニ　ナガラヘ（マカルニ）千ルハ　十二月
沫雪香薄太禮爾零登見左右二流倍散波何
ノ　ハナソモ（班）（驟オミ）（ヌタ）オナミタレ（箱フリ兵ヨメリ又オナトオ九トニハメレトハリ云テ雪ノコトセリ）
物花其毛　（安字）　才五ワカノ二極ノ兵今九久ノアメヨリ雪ノ十九」チルカモ
之　阿野本　水戸モ

尾張連歌二首　名闕

春山之開乃乎爲黒爾春菜採妹之白紵見九
ハルヤマノ　サノノ（キノ）ヲ　スクル（ロ笹見ル用）ニ　ワカナ　ツムイモカ　シラヒモミラク
（助ヨシ）レ　モ

四與四門　神中云カ葉抄云サキノラスクロニトハ処ノ名ヲ（ヌ）メ若ナニアハ雪ソル　墓後
凡雅春上　春山ノサキノスキカキワケテウメル　後拾春上　アハノハスクラスキツクメハタノ
ウチナヒケルハキヌラシ　ヤマノハノトホキヨ（キノ）　駒ノハユル、静四

打靡春來良之山際遠木末乃開徃見者　（梢トミナカラホメテ云）
（スル）　サキユクミレハ

中納言阿倍廣庭卿歌一首

去年春伊許自而植之吾屋外之若樹梅者花
コソノハル（枝語）コシテ　ウエシ　ワガヤド（ノ）　ワカキノウメハ　ハナ

咲爾家里

山部宿禰赤人歌四首

春野爾須美禮採爾等來師吾曽野乎奈都可
ハルノヘ　スミレツミニト　コシワレゾノヲナツカ
（愛スル）
之美一夜宿二來
アレヒキ　ノヤドカ　クレサケラ　バイトコヒメ
足比奇乃山櫻花日並而如是開有者甚戀目
（日ヲ経テ、今日モ明日モ）
夜裳
ワガセコニ　ミセム　ト　オモヒシ　ウメノハナソレ　トモ　ミエス　ユキ
吾勢子爾令見常念之梅花其十方不所見雪
ノフレ、ハ　（古今集ニ人丸ノ哥ト注シ、梅ノ花ソレ兵ミヘスハ此哥ヲヨメルモノ）
乃零有者

（後撰春上ヨミ人不知）　（新千春上ヒラヘツカクレシハワレ）　（古今序小註赤人続古春下）　（拾雑春古事紀上摂ニシ神代紀）　（廣庭）　（凡春中ヨミ人不知）　（大和国城下郡黒田久曲）　（廣瀬郡散吉添下郡佐紀）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

新古春上　赤人
アスカラハ中院本又
此初句ハ続モ旅
先ノ哥ニケフニシル
カモトスル句ヌケタル
看ヘ

アスヨリハワカナツマムトシメシノニキノフモケフ
明日者春菜将採跡標之野爾昨日毛今日
モユキハフリツヽ　（名所ニアラス占置タル野ヽ奥モ抄ニ誤テ名処トス
毛雪波布利管

草香山歌一首　（一云内ヽ才四ニモ

オシテルヤナニハヲスギテウチナビクサカノヤマヲユフクレニワカ
忍照難波乎過而打靡草香乃山乎暮晩爾吾
コエクレハヤヽモセニサケルツヽシノニクカラヌキミヲイツ
越来者山毛世爾咲有馬酔木乃不惡君乎何
シカユキテハヤミムヤマモセバヽ（疾
時往而早将見

右一首依作者微不顕名字

櫻花歌一首并短歌

此二三句ノ間ニ脱句
有ヘシ乃ニカ夫
君ナト有ヘシ

ヨトメラカカサレルノタメメニタハレヲノカツラノタメト
嬬嬬等之頭挿乃多米爾遊士之蘰之多米等
ミヤマヘヲヤマヌルクニノハタテニサキタルサクラノハナノニホヒ
敷座流國乃波（ハヘ）多豆爾開爾鶏類櫻花能丹穂
（脱句ヒ）ハモ助イカニ
日波母安奈何（思ヒヤンニ）
（衍イカニトヨム）
ニトヨムヘシ何ハ荷矣宣本作糸師説神武紀所載

反謌

ソノハルアヘリコキミニコヒニヘハ
去年之春相有之君爾戀爾
ラレモ
良之母

右二首若宮年魚麻呂誦之　（作主ニアラス人哥カタリツタフルヽ

山部宿禰赤人歌一首

櫻サキ白カ去年ノ人ヲ見ヨヨトムカフルニ似タリ

王春上ウケルオセヨ十二此説可ヘ

クタラノ ハギノフルエ ニハルニ[illegible]ット ナキシオリ ウクヒスナキニ ケム
[illegible]濟野乃芽古枝爾待春跡居之鶯鴫爾鷄鳴
カモ（大和ヘオニモ又クタラ阿斜明紀）

大伴坂上郎女柳歌二首

ワカセコガ ミラムサホチニ
吾背兒我見良牟佐保道乃青柳乎手折而谷
モミルイロニモ カ （サホ川原ヘ）

縁ノ字ミテヨレトミスレニヤ

裳見縁欲得
ウチカヅラサヨルモカナ

打上佐保能河原之青柳者今者春部登成爾
ケル カモ （舟サス棹ハアカクサシ入テ又引上ヘ王葉ニ此哥ノセニテウケウタスサホ河原ト改文ル）

鷄類鴨

大伴宿禰三林梅歌一首

美濃国ノ見歌

新古春下

霜雪毛未過者不思爾春日里爾梅花見都
シモユキモ イマダスギネハ オモハズニ カスカノサトニ ウメノハナミツ

厚見王歌一首

（見續日本紀天平勝宝元ヘ新古今ニ原見王ニ作ルハ誤ヘ）

江津鳴甘南備河爾陰所見今哉開良武山振
カハヅナク カミナビガハニ カゲミエテイマヤサクラム ヤマフキ （吹宮）

乃花
ノハナ

大伴宿禰村上梅歌二首

（村徳紀）

含有常言之梅我枝今日零四沫雪二相而将
フクメリトイヒシウメガエケサフリシ アワユキニ アヒテサキナム （和今待ツ見心ヘ）
カメリケム カ

開可聞
カスミタツカスカ ノ

霞立春日之里梅花山下風爾落許須莫湯目
（ナチリコソヘナカヒ詞ヘ） チリコスナユメ
ナ

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

新古春上 ヨミ人不知

大伴宿禰駿河麻呂歌一首

カスミタツカスカノサトノウメノハナハナニトハムトワカオモハナク

霞立春日里之梅花波奈爾将問常吾念奈久（メチ私 ニ 里ヨミ人見ヘ 花故ニ人ヲ一）

中臣朝臣武良自歌一首

トキハ イマ ハルニ ナリヌト ミユキフルトホキヤマヘニ カスミタナ

時者今者春爾成跡三雪零遠山邊爾霞多奈

ヒク

婢久

河邊朝臣東人歌一首

ハルサメノ ヨクキレキフルニ タカマトノヤマノサクラハ イカニアルラム

春雨乃敷布零爾高圓山能櫻者何如有良武

後撰春上 ヨミ人不知 古今春上 ヨミ人不知 凡春上 ヨミ人不知 美濃国不破郡上

大伴宿禰家持鶯歌一首

ウナキラレ ユキハフリツヽ シカス ガ

打霧之雪者零乍然爲我二吾宅乃苑爾鶯鳴

モ（キクモリ心）

裳

大藏少輔丹比屋主真人歌一首

ナニハヘニ ヒトノ ユケレハ オノレサヘ テワカナツムコヲミル

難波邊爾人之行禮波己（吾）等居而春菜採兒乎見

ガ カナレサ（残リ居テ）

之悲也 難波ヘ役ニ行ケル人ノ妻ノ吏恋ヒテヨメル歌ト云フ

丹比真人乙麻呂歌一首 屋主真人之宝本弟二子也 仲今

カスミタツ ハルニ カタニ ユキレ ウクヒスナキツ

霞立野上乃方爾行之可波鶯鳴都春爾成良

（イクニテモ野ニヒライヘハ云々名所ニアラス長屋ノ野上トスルハ誤）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

思

高田女王歌一首　高安王之女也

山振之咲有野邊乃都保須美禮此春之雨爾

盛奈里鶏利

大伴坂上郎女歌一首

風交雪者雖零實爾不成吾宅之梅乎花爾令

落莫

大伴宿禰家持養鶏歌一首

春野爾安佐留鶏乃妻戀爾已我當乎人爾令

知管

大伴坂上郎女歌一首

尋常聞者苦寸喚子鳥音奈都炊時庭成奴

右一首天平四年三月一日佐保宅作

春相聞

大伴宿禰家持贈坂上家之大孃歌一首

吾屋外爾蒔之韮花爾咲奈武名蘇

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

新撰古歌立坂上郎女
女八春ノカナシムモノヒ

ヘツヽミム

經𠮟見武（ナソラヘツヽミム）

大伴田村家毛大孃與妹坂上大孃歌一首（毛ハ之字ナルヘシ田村大孃ト坂上大孃トハ兄弟ノ心ヒモノ字入ヘキニアラス）

ツベナヌクアサヂガハラノツボスミレイヤサカリユリワカコフラ

茅花抜淺茅之原乃都保須美禮今盛有吾戀（葦盛リヲ戀ルコトノ戀ニキトヘ）

苦波（クハ）

大伴宿禰坂上郎女歌一首（此姓疑有次下家持之上千字）

情具伎物爾曽有鶏類春霞多奈引時爾戀乃（コヒノ）（キモノニゾアリケルハルカスミタナビクトキニコヒノシゲキハ）

繁者（シケキハ）

笠女郎贈大伴家持歌一首

水鳥之鴨乃羽色乃春山乃於保束無毛所念（山ノモ〈虫ベキヤウニユルラムナニ思ヒノフカカルニタトフ不審ナリヲホツカナシトイヘト不審ハセハク誓恨ハヒロシ）

ミツトリノカモノハイロノハルヤマノオボツカナクモオモホユル

可聞（カモ）

紀女郎歌一首（名曰小鹿也官）

闇夜有者宇倍毛不來座梅花開月夜爾伊而（ヤミナレハウベモキマサスウメノハナサケルツキヨニイテ）

麻左自常屋

天平五年癸酉春閏三月笠朝臣金村贈入（多治比眞人廣成也才九才十九ニモ此時ノ哥アリ）

唐使歌一首 并短歌

玉手次不懸時無氣緒爾吾念公者虚蟬之命（タマタスキカケヌトキナクイキノヲニワガオモフキミハウツセミノ）

拾遺戀三
カスミワタオホツカナサノマサル春哉

才九神龜五年
ウツセミノ女ノ人ナレハ
大君ノミコトカシコミ
真次下天平二年ノ次モ同ヒヤウニヨミ出リ
コニ脱スル乎

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

カレコミユフサレハ　タヅノ　ツミヨブナニハ　ガタミ　ソノサキヨリオホフチニ
恐夕去者鶴之妻喚難波方三津埼從大船爾
マ　カヂレジヌキレラナミノ　タカキアルミ　ラ　レミヅタヒノ　発語ワカレヨユケハ　トヽニ
二梶繁貫白浪乃高荒海乎島傳伊別往者留
レルワレハ　タムケニイハヒツヽ　キミヲ　ハヤラム　ハヤカヘリマセ
有吾者幣引齊乍公乎者將往早還萬世
ヌサヒキ　マヌム（待誤歟）

反歌

ナミノウヘユ　ミユル　コ（備前）レマノ　クモカクレアナイキツカレ（息ツク）
波上從所見兒島之雲隱穴氣衝之相別去者
フチノ（一宮イカ）　カヂガラヲモワカ　（立コモリ）
タヽキハルイノチニムカフヒヨリハ　キミカ　ミ　フネ
玉切命向戀從者公之三船乃梶柄毋我
魂極（命トヒトシキ）　（一梶トモナリテ君カ舩ニヒ行タキ）　モガハ哉

藤原朝臣廣嗣櫻花贈娘子歌一首
コノハナノ　ヒトヨノ　ウチハ　モヽクサノ
此花乃一與能裏波百種乃言持不勝而所折
コトモチカネテ　ヲラレ

娘子和歌一首
コノハナノ　ヒトヨノ　ウチニ　モヽクサノ
此花乃一與能裏波百種乃言曾隱有於保呂
コトソ　コモレル　オホロ

可爾爲莫
カニスナ

娘子和歌一首
コノハナノ　ヒトヨノ　ウチハ　モヽクサノ
此花乃一與能裏波百種乃言持不勝而所折
コトモチカネテ　ヲラレ

家良受也
ケラスヤ　（人オホクノ百種ノ詞ヲ久ヘスノオルヘキ女詞ニアラス）

厚見王贈久米女郎歌一首
アツミ　イヘモカ
屋戸在櫻花者今毛香聞松風疾地爾落良武
ヤドニアルサクラノハナハ　ツカセハヤミツチニ　オチルラム　（若キ男ノ）

久米女郎報贈歌一首
オム
ヨノナカモ　ツ子ニ　ヒ助　アラ子　バヤ　ドニ　アルサクラノハナノ　チレル
世間毛常爾師不有者屋戸爾有櫻花乃不所
ヨノ　ヲ

萓花　本草綱目ニ白萓根有神中益氣之功萓針及萓花共無益乱之功

比日可聞（コロカモ）　不所ラナムトヨメルハモトノ処ニアラハ花ニテハ歟モチルトヘウラミカコチナカラン下待心モ有ヘシ

紀女郎贈大伴宿禰家持歌二首

吾（ワレ）我身ヲ卑下ノ云ヘリ四ノ廿四ニモ此詞アリ又六帖ニ君カタメトアリ

萱草（わすれぐさ）　音昏和名加布里乃樹并色正成云雖樹〇合歡木ニ

大日経疏云経云若寿者謂有外道計一切法乃至四大草木等皆有寿命也如草木伐已続生當知有命又彼夜則斂合當知亦有惜識以睡眠故難者云若見斬伐還生以為有命人則断一支不復増長豈無命耶如合昏木有眠則水流晝夜不息豈是常覚昔由不観我之自性故生種々ノ妄見也

百木和哥抄合歡木墓後山アカミイヨリ子ト名ヲカヘテカウカノ木ニ人マヨフニ同カウカノキ六帖ニハハナ為兼昔ヨタル六ノ色モ涼シキハハナ乱ヘ愛ノタクヒ

（モタリ合歡ノ音ヲ用タルナリ）

佐倍見代（副）

右折攀合歡花并萓花贈也

大伴家持贈和歌二首

（ソハナヲ）（ヨチテ）

吾君爾戯奴者戀良思給有萓花乎雖喫彌痩（ワレヲキミニワケハコフラシタヒタルツハナヲクヘトイヤヤセ）

（ヤス）（我身ノ又）

爾夜須（ニカカタミノ子ノハハナノミニサキテケタレモニ）

吾妹子之形見乃合歡木者花耳爾咲而盖實（ワキモコカカタミニハナヲノミニサキテケタレモニ）

爾不成鴨（ニナラヌカモ）　詞ニテアハヌヲ云ナラジ

大伴家持贈坂上大嬢歌一首

春霞輕引山乃隔者妹爾不相而月曽經爾来（ハルカスミタナビクヤマノヘダテハバイモニアハズテツキソヘニケル）

右從久邇京贈寧樂宅

夏雜歌

比日可聞（コロカモ）　皆誤

紀女郎贈大伴宿禰家持歌二首

戯奴（ワケ）和（又作變）（ナ）云（イフ）之爲吾手母須麻爾（ワガテモスマニ）

花曾御食而肥座（ハナソメシテコエマセ）

畫者咲夜者戀宿（ヒルハサキヨルハコヒヌル）合歡木花君耳將見哉和氣（ネムノキノハナキミノミムヤワケ）

佐倍爾見代（サヘニミヨ）

右折攀合歡花并茅花贈也

大伴家持贈和歌二首

吾君爾戯奴者戀良思給（ワガキミニワケハコフラシタマヒタルツ）有茅花乎雖喫彌痩（ハナヲハメドクヘトイヤヤセ）

爾夜須（ニヤス）

吾妹子之形見乃合歡木者花耳爾咲而蓋實（ワキモコカカタミノネムノキハハナノミニサキテケタレニミ）

爾不成鴨（ニナラヌカモ）

大伴家持贈坂上大嬢歌一首

春霞輕引山乃隔者妹爾不相而月曾經爾來（ハルカスミタナビクヤマノヘダテレバイモニアハズテツキソヘニケル）

右從久邇京贈寧樂宅（ニ）

夏雜歌

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

日本紀才廿九 オホトジ 五百重娘トス
藤原夫人歌明日香清御原宮御宇天皇之
オホトシ 夫人 日本紀後ニ夫人ヲ更ニ
夫人 一首 也字曰大原大刀自即新
田部皇子
之母也
ホトキスイタクナキソナカコエヲサヲシカ
時來將鳴

乃削皇子御歌一首
ホトトキスナカルクニニモユキテカ
霍公鳥無流國爾毛去而師香其鳴音乎聞者

志貴皇子御歌一首
カミナビノイハセノモリノホトトキス
神名火乃磐瀬乃杜之霍公鳥毛無乃岳爾何
高市郡ニ大和下ノ三十三丁ニ丸里ノナラシノ岳
ツカキナカム
時來將鳴

辛荷島 クルシマ モ アマリ賞メタリ

小治田廣瀬王霍公鳥歌一首 天武紀續日本紀ノ文武紀
ホトトキスコエキクヲヂノ、アキカセニハギサキヌレヤ
霍公鳥音聞小野乃秋風萩咲流尓伴而
未ダ能ク詩ヲ解セザル人ノ作ナルベシ萩ノ花ノ咲ヲ見テ霍公鳥ノ鳴ヲ聞ク
ハ非ス萩ノ花ノ咲ヲ見テ霍公鳥ノ鳴ヲ聞クト云ヒ又秋風ニ萩ノ咲ヲ見テ
霍公鳥ノ鳴ヲ聞クト云ヒ又萩ノ咲ヲ見テ霍公鳥ノ鳴ヲ聞クト云ヒ又萩ノ
咲ヲ見テ霍公鳥ノ鳴ヲ聞クト云ヒ皆非ス又萩ノ咲ヲ見テ霍公鳥ノ鳴ヲ聞
クト云ヒ又萩ノ咲ヲ見テ霍公鳥ノ鳴ヲ聞クト云ヒ皆非ス又萩ノ咲ヲ見テ
霍公鳥ノ鳴ヲ聞クト云ヒ又萩ノ咲ヲ見テ霍公鳥ノ鳴ヲ聞クト云ヒ皆非ス
ハギサキヌレヤ コエノ トモシキ
霍公鳥音聞小野乃秋風萩開禮也聲之乏寸
ホトトキスコエキクヲヂノアキカゼニハギサキヌレヤコエノトモシキ
霍公鳥音聞小野乃秋風萩開禮也聲之乏寸
第八誤ル萩ノ芽ト萩ノ咲ト誤ルニヨリテ六帖ニアヤケサケレヤト
点セリ此集ニテオヲハキトヨメルモ其ヘ故ハ不知

沙彌霍公鳥詩一首 ビキノ方ヨリ
アシビキノ山ホトトギスナガナケハ
足引之山霍公鳥汝鳴者
三方ノ山ヲ弥ルヘシ沙弥女王ノ兄ノ家ニ弟ノ妹トアルハ女王ノ哥ニ非ス又沙弥ノ名モアト更ニモ有マジ
イヘニアルイモツチニオモホユ
家有妹常所思
オモシロキニ付テモ非ジ心ニテモ妹ヲ思フ事
キカセメキハ

刀理宣令歌一首 トリノ
モノフノイハセノモリノホトトキス
物部乃石瀬之杜乃霍公鳥今毛鳴奴可山之
香昵手
只カヅ〳〵山トハナトドコカ如シ
カケニヘム
影爾

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

弥
持統紀六年冬十月壬戌朔壬申授山田史御形務廣肆前為沙門学問新羅此集者二藤
原宮御宇天皇代下標之三方沙弥乃哥其下二首八天
ア?ハサシレハ知カタシ又皇極紀ニ天平十九年十月癸卯朔乙巳勅曰春宮大属従八位上御方ノ大野所欲
之姓思欲許賜総大野ノ父於浄御原朝廷在皇子之列而縁徴過被廃退朕甚哀情所以不
賜其姓也 延ノ三年正月授三方宿禰廣名従五位下 此三方沙弥大野カ子ニモヤ侍リケン大野カ
父於浄御原朝廷在皇子之列ハ磯城皇子ナルヘシ此皇子ノ行末ヲ記セルコトナケレハ

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用　挟み込み物

山部宿禰赤人歌一首

戀之家婆（郭公コヒシケバハカタミニセムトワカヤドニウエシフチナシ）
形見爾将為跡吾屋戸爾殖之藤浪（ミノ田長ノ支神中村ニ出）
今開爾家里（元暦校本久ニ作ル）
イマサキニケリ

天徳奥合ニ池水ナニヨセスノ藤波ヲ雑テラレシト此哥アリ又新古今ニ延喜御哥カリテコノミヤクホレテカバヲカケテ忍ヘル藤波ノ色又天ノ御哥ニ含ヒヌレ尼ヲ又藤波ノ色ニ

式部大輔石上堅魚朝臣歌一首

霍公鳥来鳴令響宇乃花能（元正紀霊亀元紀ニ人ノ名マシヰト）
共也来之登問麻思物乎
ホトトキスキナキトヨマスウノハナトモニヤコシトトハマシモノヲ

右神龜五年戊辰太宰帥大伴卿之妻大伴郎女遇病長逝焉于時勅使式部大輔石上朝臣堅魚遣太宰府弔喪并贈物色其事既畢驛使乃府諸卿大夫等共登記夷城而望遊之日乃作此歌

太宰帥大伴卿和歌一首

多手ハナノハナチルサトノホトトキスカタコヒシツヽナクヒトモオホ
橘之花散里乃霍公鳥片戀為乍鳴日四曽多

（妻ノ身ヲカコタルニ比恋慕テ泣ニ比）

寸

（養人妹ノ事カタクシテカタラレケルコトヘメリ）
大伴坂上郎女思筑紫大城山歌一首

今毛可聞大城乃山霍公鳥鳴令響良武吾
イマモカモオホキノヤマニホトトキスナキトヨムラムワレ

（下ノ十山第九廿五オ四ノ廿九）

上朝臣堅魚遣太宰府弔喪并贈物色其事

（天智紀ニアル水城ヲ築ク）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

後撰夏ヨミ人不知

無禮杼毛（ナケレトモ）　七廿四ニ我ナレヤカヲキハセメヤトヨメルモ我ナケレ共心ヽ

大伴坂上郎女霍公鳥歌一首

何哥毛幾許戀流霍公鳥（ナニシカモココバクコフルホトトキスナク）禮（コヽバ）

小治田朝臣廣耳歌一首　續日本紀ニ此人ナシ廣千アリ續日本紀写生ノ誤乎

獨居而物念夕爾霍公鳥（ヒトヲリテモノオモフヨヒニホトトキス）從此間鳴渡（コヽアタリナキワタル）心四有（コヽロシアラ）良思（シ）

大伴家持霍公鳥歌一首

宇能花毛未開者霍公鳥（ウノハナモイマダサカヌニホトトキス）佐保乃山邊來鳴令響（サホノヤマベヽキナキトヨマス）

大伴家持橘歌一首

吾屋前之花橘乃何時毛（ワガヤトノハナタチバナノイツシカモ）珠貫倍久（タマニヌクベク）其實成奈武（ソノミナリナム）

大伴家持晩蟬歌一首

隱耳居者鬱悒奈具（カクシノミヲレハイブカシナグサム）出立聞者來鳴日晩（イデタチキケハキナクヒグラシ）

大伴書持歌二首

我屋戸爾月押照有霍公鳥心有今夜來鳴令響

ワカヤド ニ ツキオシテレリ ホトトギス コヽロアルコ ヨヒキ ナキトヨモセ

我屋前乃花橘爾霍公鳥今社鳴来友爾相流時

ワカヤド ノ ハナタチバナニ ホトトギス キスイマコソナカメ トモニ アヘル トキ

大伴清縄歌一首

皆人之待師宇能花雖落奈久霍公鳥吾将忘哉

ミナヒトノ マチシ ウノ ハナナレトイトナ ク ホトトギス キスクレワスレメ ヤ

庵君諸立歌一首

吾背子之屋戸乃橘花乎吉美鳴霍公鳥見曾吾来之

(庵原君氏ヘシ庵原ハ駿河国郡名又ハ庵君トカリ云ヘハアルベシトスコレ)

ワガセコ(原)カ ヤド ノ タチバナヲ ヨシミ ナクホトトギス キスミニソ ワカコシ

大伴坂上郎女歌一首

霍公鳥痛莫鳴獨居而寐乃不所宿聞者苦毛

ホトトギス キスイタクナ ナキヒトリヰテ イノ ネラ エヌニキケハ クルシモ

大伴家持唐棣花歌一首

夏儲而開有波禰受久方乃雨打零者将移香

ナツマケテ サキタルハ ネ ス ヒサカタノ アメウチフラハ ウツロヒナムカ

大伴家持恨霍公鳥晩喧歌二首

吾屋前之花橘乎霍公鳥來不喧地爾令落常
（ワカヤドノ　ハナタチバナヲ　ホトトギス　キナカズテ　ツチニ　チラシナムト）
香
（カ）
霍公鳥不念有寸木晩乃如此成左右爾奈何
（ホトトギス　キスオモハズアリキ　コノクレノ　カクナルマテニ　ナトカ）
不來喧
（キナカヌ）
（木ノ下閣心）

大伴家持懽霍公鳥歌一首
（ヨロコブ　聞ケル　ニ　喧ツル　脫手）

何處者鴫毛思仁家武霍公鳥吾家乃里爾今
（イヅコニカ　ハナキモシニケム　ホトトギス　ワギヘノサトニ　ケフ）
日耳曽鴫
（ノミゾナク）

大伴家持惜橘花歌一首
（ムル）

吾屋前之花橘者落過而珠爾可貫實爾成二
（ワカヤドノ　ハナタチバナハ　チリスギテ　タマニヌクベクミ　ニ　ナリニケリ）
（過度）
（薬）
家利
（ケリ）

大伴家持霍公鳥歌一首
（ホトトギス　キスミテドキ　ナカヌ　アヤメグサ　タマニヌクマデ　カ）

霍公鳥雖待不來喧菖蒲草玉爾貫日乎未遠美
（ホトトギス　キスミテドキ　ナカヌ　アヤメグサ　タマニヌクマデ　カ）
（菖蒲ヲ五月五日ニ冠ニ挾ム）
（五月五日）

大伴家持雨日聞霍公鳥喧歌一首
（ウノヒ　スギバ　ホトトギス　キナカムカ）

宇乃花能過者惜香霍公鳥雨間毛不置從此
（ハナノ　スギバ　アダニ　モ　オカズ　コユ）
（雨ヲモ不厭ヘ）
（ナキワタル）
間喧渡

橘歌一首　遊行女婦

君家乃花橘者成爾家利（キミガイヘノハナタチバナハナリニケリ）

花乃有時爾相益物乎（ハナノサカリニアハマシモノヲ）

古今集我宿ノ花立花ハナリニケリ久ヤシキ時ニアヘル君カモ　和名楊氏漢語抄遊行女婦　和名宇賀礼女又云阿曽比

大伴村上橘歌一首

吾屋前乃花橘乎霍公鳥来鳴令動而本爾令散都（ワガヤドノハナタチバナヲホトトギスキナキトヨメテモトニチラシツ）

大伴家持霍公鳥歌二首

夏山之木末乃繁爾霍公鳥鳴響奈流聲之遙（ナツヤマノコノスヱノシゲニホトトギスナキトヨムナルコヱノハルケク）

（繁ノ字加字　時鳥ノ羽ニテナヌラシ受ケタマリ）

神代上自指河上漏（タチ）隠者必彼（ソコ）矣　古事紀上云於茲（ココ）之中自我生侯（マセル）之子也自（ヨリ）以下ミ主

新線古夏　家持

佐（カ）

足引乃許乃間立八十一霍公鳥如此聞始而後将戀可聞（アシヒキノコノマタチクヽホトトギスカクキヽソメテノチコヒムカモ）

（立隔ル古事紀ニ谷隔ル）

大伴家持石竹花歌一首

吾屋前之瞿麦乃花盛有手折而一目令見兒（ワガヤドノナデシコノハナサカリタリヲリテヒトメミセムコ）

毛我母（モカモ）

惜不登（アハレム）筑波山歌一首

筑波根爾吾行利世波霍公鳥山妣兒令響（ツクハネニワカユキカリセハホトトギスヤマビコトヨメ）

（ツクハ子ニワカユキカリ世ハホトヽキス　ヤマビコトヨメ　ナカ）

（十五ノ物ミ）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

麻志也其（其鳥ノ声ヲ云ヘシ）
右一首高橋連蟲麻呂之歌中出

夏相聞（ヒサシ）

大伴坂上郎女歌一首

無暇不來之君爾霍公鳥吾如此戀常徃而告（イトマナミコザリニキミニホトトギスワレカクコフトユキテツゲコソ）社

大伴四縄宴吟歌一首（ツナ）

事繁君者不來益霍公鳥汝太爾來鳴朝戸將（コトシゲキキミハキマサヌホトトギスナレダニキナケアサトニラ）

開（カ△）

大伴坂上郎女歌一首

夏野乃繁見丹開有姫由理乃不所知戀者（ナツノノシゲミニサケルヒメユリノエラレヌコヒハクルシキ）

物乎（モノヲ）曽官仲能柯

小治田朝臣廣耳歌一首

霍公鳥鳴峯乃上能宇乃花之（ホトトギスナクヲノウヘノウノハナノ）

不來益（キマサヌキ）

大伴坂上郎女歌一首

獻事有哉君之（ウキコトアレヤキミカ）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

五月之花橘乎爲君珠爾貫零卷惜美（サツキノハナタチバナヲキミガタメタマニヌケチラマクヲシミ）

紀朝臣豊河歌一首（キノアソミトヨカハノウタイチシュ）

今案此ノ歌ハ深ク入ト云ヒ合ハ奥ヲ心ヒ心ヲ上ニ置サハ之ヲ皆同辞ワサト上ニ置ク此説モ叓ニ

道ノヘノ此深ク入リ然レハサヲリハ風ニリノ心ヲ上ニ置サハ之ヲ皆同辞ワサト上ニ置ク此説モ叓ニ

乃佐由理花由利登云者（ノサユリハナユリトイヘハ）

之脱字

汝タハヌニ（シタハヌニ）

不謌云二似（去チ行又歩脱字）

高安歌一首（タカヤスノウタイチシュ）

暇無五月乎尚爾吾妹兒我花橘乎不見可將過（イトマナミサツキヲシカニワキモコガハナタチバナヲミスカスノサム）

大神女郎贈大伴家持歌一首（オホミワノイラツメガオホトモノヤカモチニオクレルウタイチシュ）

霍公鳥鳴之登時君之家爾往跡追者將至鴨（ホトトキスナキシスナハチキミガイヘニカモトヲヒテハカレハイタリケムカモ）

時鳥ニユケト

至リテ帰カ

大伴田村大嬢與妹坂上大嬢歌一首（オホトモノタムラノオホイラツメトイモサカノウヘノオホイラツメトノウタイチシュ）

舌古仲（フルサトノナラレノヲカノホトトキスコトツケヤリシイカニ）

郷之奈良思之岳能霍公鳥言告遣之何如（サトノナラシノヲカノホトトキスコトツケヤリシイカニ）

ナラシモ無シ下ト同

告寸八（ツケキヤ）

大伴家持攀橘花贈坂上大嬢歌一首并短（オホトモノヤカモチタチバナノハナヲサカノウヘノオホイラツメニオクレルウタイチシュアハセタリ）

伊加登（イカドト）

助発

門

伊加登伊可等有吾屋前爾百枝刺於布流橘（イカドイカドアルワカヤドニモヽエサシオフルタチハナ）

玉爾貫五月乎近美安奴我爾花咲爾家里（タマニヌキサツキヲチカミアヌカニハナサキニケリ）

ヌキサク宣本

合

ヌカニ

物ノ文ハ心ナルヘシ又ハ文字ノ誤ナルヘシ

源氏ニミヤマヒカケ家トカケルモ今

拾雑春大伴像見坂上郎女ノ心カハシテルトハ誤ヘ

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

雉ヽ得哥也

宴ハ又ハ哥イハ又略

サツキノ中ハ十タチハナヲキミカタメ　ヽニヨソヌケキラマクヲシミ

五月之花橘乎爲君珠爾貫零卷惜美

紀朝臣豊河歌一首　社腕中或本

吾妹兒之家乃垣内乃佐由理花由利登云者　（橘ヲ見ニ未ス下ニ照ス）

ワキモコカヤトノカキウチノサユリハナユリトニイヘハ　（ユリハ動ナリ）

不謂云二似　（去チ行又歩脱ス）

ソタハヌニ　ニイヘル水戸

萬安。歌一首

暇無五月乎尚爾吾妹兒我花橘乎不見可將過

イトヒナキサツキヲシカニワキモコガハナタチハナヲミスカスノサム

大神女郎贈大伴家持歌一首

ミワ

大神女郎贈大伴家持歌一首

霍公鳥鳴之登時君之家爾往跡追者將至鴨　（至リテ帰カ）

ホトヽキスナキシスナハチキミガイヘニユケトヲヒシハイタリケムカモ　時鳥ニ

大伴田村大嬢與妹坂上大嬢歌一首

古仲郷之奈良思之岳能霍公鳥言告遣之何如告寸八

フルサトノナラシノヲカノホトヽキスコトツケヤリシイカニツケキヤ

（ナノモ無ヒト同サ三丁）

大伴家持攀橘花贈坂上大嬢歌一首并短

歌

伊加登伊可等有吾屋前爾百枝刺於布流橘玉爾貫五月乎近美安奴我爾花咲爾家里

イ助カドイカドアルワカヤドニモヽエサレオフルタチハナタヽニヌキサツキヲチカミアヌカニハナサキニケリ　（物ノ文ヒ心ナシハ下文ハ文字ヲ省ニ似ヲアヤスナトヲ類ヘ）

拾雑春大伴像見坂上郎女ヲ心カケシテルトハ誤ヘ

源氏ニムラサキカタヲ家トヲホトノヽ下ルヲ今

ソノトヨ頭

マソ鏡十寸斤召
マスコトヨメル公年十
六七食ノ哥分リ

或云支佐八千矛
神哥ロヒメタモヤ
ナルトカ

朝爾食爾出見毎氣緒吾念妹爾銅鏡清月
アサニケニイテミルゴトニイキヲ(氣)ニワカオモフイモニ(モノカ)カガミニキヨキツキカモ

夜爾直一眼令覩麻而爾波落許須奈由米登
ヨニタダヒトメ(一合宮廿ムマ)テニハチリコス(過スナ)ナユメト

云管幾許吾守物乎宇禮多伎也志許霍公鳥
イヒツヽコヽタクモワガモルモノヲウレタキヤシコホトヽギス

暁之裏悲爾雖追尚來鳴而徒地爾令散
アカツキノウラガナシキニヲヘドナホキナキテイタヅラニツチニチラス

者爲便乎奈義攀而手折都見未世吾妹兒
ハスベヘヲナミヨチテタヲリツミテワキモコ

反歌

望降清月夜爾吾妹兒爾令覩常念之屋前之
モチクダチキヨキツキヨニワキモコニミセムトオモヒシヤドノ
(十五夜ヨリ以後ノ)(視宮)(モヒ)

橘

反哥ニ長哥心ヲヘテカクモヨム

統ク秋下 舒明天皇オホタタノタ山ノ年ノ小倉山

妹之見而後毛將鳴霍公鳥花橘乎地爾落津
イモカミテノチモナカムホトヽギスハナタチバナヲチニチラシツ

大伴家持贈紀郎女作歌一首

皐(サナヅラ)麥者咲而落去常人者雖言吾標之野乃花
ナデシコハサキテチリヌトヒトハイヘドワカシメシノヽハナ

爾有目八方
ニアラメヤモ(他心ヲ云ヘリ)(人心ノ定ロヲヲ云ヘリ)

秋雜歌

舒明也後之御哥トス後ニ岡本天皇ト或本ニ云ルヨシ

岡本天皇御製歌一首

コフザレハヲクラノヤマニナクシカノ(阿野宮本水ヲ百引)(仁徳紀可引)
(妻ヲ恋得テアヘルニヤ)

暮去者小倉乃山爾鳴鹿之今夜波不鳴寐宿
ユフサレハヲグラノヤマニナクシカノコヨヒハナカズイネニケラシモ

家良思母
(大和ニ市郡アリ)

小倉之山 大和國廣瀬郡上倉下倉新古今定家白雲ノ春ハカケテ立田山小倉ノ峯ニ花匂フラン雲集九白雲立田山ノ能ノ小鼓ノ拍子ニ長良ノ竹取物語ニオク路ノ老ラクミモヤトサマシオクラ山ニテ何ホメケン山城ニアリ是ハ清九小鼓ノ春ノ峯ノ花ヲヨメルカ山城ニアリ是ハ清九小鼓ノ春ノ峯ノ花ヲヨメルカ大和ニアリ是ハ清九小鼓ノ春ノ峯ノ花ヲヨメルカ大和國十市郡トミノヲカノ今此哥モ大和ニアリ是ハ清九小鼓ノ春ノ峯ノ紅葉ヲヨメルカ

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

凡秋中　穗積皇子

草

天武皇子　大津皇子御歌一首

タテモ　ナクヌキモ　サタメスヨトメ

經毛無緯毛不定未遂女等之織黃葉爾霜莫

フリソ子モミナ錦ニヌイハントテ云出スヘシ是ハ用ヲ以体ヲアラハス古凡ノ古集ニノタマヘルカ如ケル（古官）（錦ヘ）（ニシキ他皆忘不集心）

零

同上　穗積皇子御歌二首

アサケ　カリカ　子　キヽツ

今朝之旦開鴈之鳴聞都春日山黃葉家良思

カスカ　ヤマモミチニケラシ

ワカコヽロイタル　皇極紀ニ吾心痛

吾情痛之

アキハキヌヘカラシ　ワカヤトノ（三四月ニ花ノ景色秋ニ似タリ）

秋芽者可咲有良之吾屋戸之淺芽之花乃（アサチカ　ハナノ　チリ）

ユクミレハ　サクヘカルラシ　舍

去見者　散

六帖第五ノ二ノ人シレヌ道ト思ハハ玉梓ニ打タヾヒフミ行ヘキ物ヲ

才二ホツミ皇子ト密通

但馬皇子　女仲

御歌一首　一書云子部女仲王作

コトニケキサトニ　スミスハケサナキシ

事繁里爾不住者今朝鳴之鴈爾副而去益物

人丸集　クニニ　アラス　ハ嘲官　イナヽ

乎

一云國爾不有者

山部王惜秋葉歌一首

アキヤヽニ　キハム　コノハノ　ウツリナハ

秋山爾黃反木葉乃移去者更哉秋乎欲見世

モミヅ下五ム　（初秋ニナレタキ）

武

長屋王歌一首

ウヘ　サケノ三

味酒三輪乃祝之（祝ガイハキマツル山ヽ）　ハフリカ　（ヤニテラスアキノ）

山照秋乃黃葉散莫惜毛

モミチノチラヽクヲシレモ

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

山上臣憶良七夕歌十二首

天漢相向立而吾戀之君来益奈利紐解設祢
アマノカハ　コムカヒタチテ　ワカコヒシ　キミキマスナリ　ヒモトキマケナ
久方之漢瀬爾船泛而今夜可君之我許来益武
ヒサカタノ　アマノカハセニ　フナウケテ　コヨヒカキミガ　ワガリキマサム

一云向河
カハニムカヒ

右養老八年七月七日應令
ヤウラウ　ヤトセ　ナヌカ　マサニ　オフセノ

右神龜元年七月一日
ジンキ　ガンネン

久方之漢瀬爾船泛而今夜可君之我許来益武

右神龜元年七月一日

天之河之別時由伊奈宇之呂河
アマノカハノ　ワカレシトキユ　イナウシロカハ

向立意空不安久爾嘆空不安久爾青浪爾望
ムカヒタチ　オモヒソラヤス　カラク　ニ　ナケクソラヤス　カラク　ニ　アヲナミニ　ノゾミ

續後撰秋上　山上憶良　アマノカハセニ　フネヲセテ　ワタリモマサム

イナウシロ　延喜式出雲国造神賀詞彼方古川岸此方古川岸下立八川乎生立加伊子ノ如レイヘリ　師云式ニヨレハ川ノ平生立カイ子ノムシロノ如レトイヘリ　歌宗天皇御製伊勢武蔵下総三国ノ采女ノ歌ニモ此詞アリ　苔ノコシ古川ノ流ノフルキヨシ延ノコトク苔ノ生久ン　十一巻ニイナムシロ　ニヒトシハワラノムシロ　延喜式出雲国造神賀詞彼方古川岸此方古川岸下立八川乎生立加伊子ノ如レイヘリ　師云式ニヨレハ川ノ平生立カイ子ノムシロノ如レトイヘリ　歌宗天皇御製伊勢武蔵下総三国ノ采女ノ歌ニモ此詞アリ　苔ノコシ古川ノ流ノフルキヨシ延ノコトク苔ノ生久ン　十一巻ニイナムシロ　ニヒトシハワラノムシロ　今ニ雲モナケキ　タレユヘカ

八多絶エヌ　シラクモニ　ナミタヘ　ツキヌ　カクノミヤイキツ
者多要奴白雲爾滂者盡奴如是耳也伊伎都
キヲラムカクノミヤコヒツヽ　イキツカムヨシ

枳乎良牟如是耳也戀都追安良牟佐丹塗之
コフラムガモタニニキノニカイネリ　ツカラムガモ　サニヌリノ

小舟毛賀茂玉纈之眞可伊毛我母絶
ヲフネモカモ　タマノカイコギ　マカヰモワタリ

朝奈藝爾伊可伎渡夕塩爾伊許藝渡
アサナギニ　イカキワタリ　ユフシホニ　イコギワタリ

久方之天河原爾天飛也領巾可多思吉眞玉
ヒサカタノ　アマノカハラニ　アマトブヤ　ヒレカタシキテ　マタマ

手乃玉手指更餘宿毛寐而師可聞左
テノタマデ　サシカヘヨ　イモ子　テ　ネ　ガモ　テシガモ

秋爾安良受登母
アキニアラズト　モ

一云秋不待登毛
アキニタタスト　モ

反歌

山上臣憶良七夕歌十二首

天漢相向立而吾戀之君來益奈利紐解設奈
アマノカハ　コムカヒタチテ　ワカコヒシ　キミキマセリ　トキヒモトカム　マケモナシ
（三モトキマウケオキテアハム）

一云向河
カハニムカヒ

右養老八年七月七日應令（養老八年甲子ノ年）（聖武帝太子ノ時）
文近侍曰

久方之漢瀬爾船泛而今夜可君之我許來益武
ヒサカタノ　アマノカハセニ　フネウケテコヨヒカ　キミカワカリキ　ニサム
（牽牛）

右神龜元年七月七日夜左大臣家（長屋王ノ誤日本紀ニ神龜元年二月甲子長屋王正二位左大臣）

牽牛者織女等天地之別時由伊奈宇之呂河
ヒコホシハ　タナハタツメト　アメツチノ　ワカレシトキユ　イナウシロカハニ
（偕）（稲）（延）

向立意空不安久爾嘆空不安久爾青浪爾望
ムキタチオモフソラヤスカラナク　ニナケクソラヤスカラナク　ニアヲナミニ　ノゾミ
（思官）（年矛）

八月（絶エヌ）之七夕爾（シラクモニ）（ツキヌ）（カクノミヤイキツ）

者多要奴白雲爾隔者盡奴如是耳也伊伎都
キヲタラムカクノミヤ　コヒツヽハ　アラムサ助ニヌリノ　ヘタテハツクヌ　カクノミヤ　イキツ
（キヲヲ）

枳乎良牟如是耳也戀都追安良牟佐丹塗之
キヲラムカクノミヤ　コヒツヽハ　アラムサ助ニヌリノ
（フ子モ）（ガ）（モ）（タニ）（ニキノ）（ニカ）（イモカモ）

小舟毛賀茂玉纜之眞可伊毛我母（海辺ノ枕詞カ）（アサナギニ）（カケテ）（ロタリユフレホニ）（カイネツケテノ）（天河ノ枕詞カ）（ワタリ）（イモカモ）

朝柰藝爾伊可伎渡夕塩爾（アサナギニ）（イカキワタリ）（ユフシホニ）

比左加多能阿麻能河原爾天飛也（ヒサカタノ）（アマノカハラニ）（アマトブヤ）（羽衣ノ類）

領巾可多思吉眞玉（ヒレカタシキテ）（マタマキ）（ヒレカタシキテ）（マタマキ）（ヒレカタシキテ）（マタマキ）（ヒレカタシキテ）（マタマキ）（ヒレカタシキテ）（マタマキ）

手乃玉手指更餘宿毛寐而師可聞（テノタマテ）（サシカヘヨヒモ）（テノタマテ）（サシカヘヨヒモ）（テノタマテ）（サシカヘヨヒモ）（テノタマテ）（サシカヘヨヒモ）（テノタマテ）（サシカヘヨヒモ）（寝ト同意）

秋爾安良受登母（アキニアラズトモ）

一云秋不待登毛（アキマタズトモ）

反歌

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

風雲者二岸爾可欲倍杼毋吾遠嬬之云波乃
事曽不通

多夫手二毛投越都倍伎天漢敞太而禮婆可
母安麻多須辨奈吉

右天平元年七月七日夜憶良仰觀天河一云作暁夜

秋風之吹爾之日從何時可登吾待戀之君曽
来座流

古今集秋ノ上ニ旨ヨリ久カタノ天カハラニタヌヌ日ハナシ

或書異紀ヒトフト通スル石ヘモヒラハウモツヒテガ原ナルベシ

古良紀仁徳御製

王秋上 憶良

天漢伊刀河浪者多多禰杼毋伺候難之近此
瀬乎

袖振者見毛可波之都倍伎久雖近度爲便無秋
西安良禰波

玉蜻蜓髣髴所見而別去者毛等奈毛等奈
時麻而波

右天平二年七月八日夜帥家集會

牽牛之迎嬬船已漕出良之漢原爾霧之立波

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

霞立天河原爾待君登伊往還程爾裳襴所沾
河浮津之浪音佐和久奈里吾待君思舟出
爲良之毋

太宰諸卿大夫并官人等宴筑前國蘆城驛
家歌二首

娘部思秋芽子交蘆城野今日乎始而萬代爾
將見

珠匣葦木乃河乎今日見者迄萬代將忘八方

右二首作者未詳

笠朝臣金村伊香山作歌二首

草枕客行人毛往觸者爾保比奴倍久毛開流
芽子香聞

伊香山野邊爾開有芽子見者公之家有尾花
之所念

石川朝臣老夫歌一首

娘部志秋芽子折禮玉桙乃道去裏跡爲乞兒

藤原宇合卿歌一首（松下見林曰宇合八馬養ト通）

我背兒乎何時曽旦今登待苗爾於毛也者將見秋風吹（哈公雅心得才九ニ暮師ナトアルハ緣迮ト云儒ニアラ師ハ俤師ヵ矣（面ハ三ヘモセテ秋ノ吹ン）

緣達師謌一首

暮相而朝面羞隱野乃芽子者散去寸黄葉早（ハギノモミチ）

山上臣憶良詠秋野花二首（キトル云詞ノカニシテ數ヘオヒセ）

秋野爾咲有花乎指折可伎數者七種花其一

芽之花乎花葛花瞿麥之花姫部志又藤袴朝（五六）

貌之花（其二）（聖武）天皇御製歌二首（孝徳天皇御治世ニノメリテ立ウミツカレメルニハ太上天皇ト云ヘリ次皇ニテコトハル詩ニ此例多シ）

秋田乃穂田乎雁之鳴闇爾夜之穂杼（程）（ヤミナルニ）

鳴渡可聞

今朝乃且開鴈之鳴寒聞之奈倍野邊能淺茅（アサチ）

曽邑付丹來

太宰帥大伴卿歌二首

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

ワカヤカニ　サヲシカキナクハツハキノ　シカ
吾岳爾棹牡鹿來鳴先芽之　花嬬問爾來鳴棹
ヲシカ　（秋ノ中ニ應ニ起臥スル故秋花ヲ妻トスルハセリ）
牡鹿
ワガヲカノ　アキハギハナカサヲ　イタニチル　ヘクナリヌニム　ヒトモ　カヤ
吾岳之秋芽花風乎痛可落成將見人裳欲得
（ヱ、ヒ、ヒ、ヒ

ワカヲカニ サヲシカキナクハツハキノ ハナツマトヒニキナクヤ
吾岳爾棹牡鹿來鳴先芽之花嬬問爾來鳴棹
（萩ノ中ニ鹿ノ起臥スル故秋萩ヲ鹿ノ妻トスナラハセリ）
ヲシカ
牡鹿

ワガヲカノ アキハギノハナカサヲ イタミチル ヘクナリヌミム ヒトモカナ
吾岳之秋芽花風乎痛可落成將見人裳欲得
（續日本紀之正紀）
三原王歌一首

アキノツユハ ウツシ ナリケリ ミツヽシノ ヤマノ イロツク
秋露者移爾有家里水鳥乃青羽乃山能色付
（又青之葉歌源氏之若葉上ノ事ハ）
（紅ヲ一入深ク一紙ニ染ムルヲ云カ色ヲオロスニ皆水ヲ和スル心ニ後ノ哥ニ白露ノ染尺ヲ）
見者

ユケノミト六帖ニハ誤ヘリ
湯原王七夕歌二首

ヒコホシノ オモヒマシマシスラ ム アカツキヤミハ
（彦星ノ心ヨリモ）
牽牛之念座良武從情見吾辛苦夜之更降去

（丸後凡上記双眉接神ノ）
者 ソテヅクヨ ロ ノ アカツキ
（多ヒノ神ヲカハノ杭トスル心ニ真玉手ノ玉手サシカヘトヨメル同）
タナハタノ
織女之袖續三更之五更者河瀬之鶴者不鳴
（多クハ暁ヲ物故ニ云ナカス）
タツハ

友吉
（今賀ハヤ）
市原王七夕歌一首

イモガリト ワカユクミチノ カハノアレハ ヒトメツヽムト ヨソフケニ
妹許登吾去道乃河有者附目縢結跡夜更降
（此訓如何）
（十三ノ卅六ツヽメ同ジメユフ）
ケリ

家類
藤原朝臣八束歌一首

（旋毛哥サヨシニカノハキニ ヌキヲケル ツユノシラタマアサワニタレノ）
棹四香能芽二貫置有露之白珠相佐和仁誰
（四三十三同心ノ心ニ）

入可毛手爾將卷知布

大伴坂上郎女晩芽子歌一首

咲花毛宇都呂波牟奥手有長意爾尚不如家里

典鑄正紀朝臣鹿人至衛門大尉大伴宿禰

稻公跡見庄作歌一首

射目立而跡見乃岳邊之瞿麥花總手折吾者

將去寧樂人之為

湯原王鳴鹿歌一首

秋芽之落乃亂爾呼立而鳴奈流鹿之音遥者

市原王歌一首

待時而落鐘禮能雨令零收朝香山之黄葉

湯原王蟋蟀歌一首

暮月夜心毛思努爾白露乃置此庭爾蟋蟀鳴

毛

衛門大尉大伴宿禰稻公歌一首

拾秋　安貴王イクカモアラヌカトメモトスレモ

レク レノ アメヘ ナクシフレハ 三 カサヤマニ ケ
鐘禮能雨無間零者三笠山木末歷色附爾家
リ 里

大伴家持和歌一首

皇之御笠乃山能黃葉今日之鐘禮爾散香過
オホキミノ ニ カサノ ヤマノ モミチハ、ケフノ シクレニ チリカ スキ
ナム （天智紫部ノ御笠ニアル 秋官）

奈牟

安貴王歌一首

秋立而幾日毛不有者此宿流朝開之風者手
アキタチテ イクカ モ アラネ ハ コノ ヤドル アサケノ カセハ タ
本寒母 モトサムシモ （アラズノ心） （寢ル朝ケノ風） （サキハジハナケレド）

新勅撰上豐浦ハ推古天皇ノ都ヲメデサセ玉ヒテ豐浦宮ト申シヲキ玉ヒシヨシ奈良朝ノ都ニハ藤原ノ方ヲ故ト云ヘリ

續後拾秋ヤ今ハヘアヒテカヘラヌヨリ

新後拾秋上三公知イハレノヘノ思ヒ人モ ミワルケフカナ

愚部首黑麻呂歌一首

秋田苅借廬毛未壞者鴈鳴寒霜毛置奴我二
アキタ カル カリイホモ イマタコホタチハ カリカネ シモモ オキヌ カ ニ
（上三字ハ カニ ナル）

故郷豐浦寺之尼私房宴歌三首
（持統紀元年紀 トヨラノ） （ムロノ）

明日香河逝回岳之秋芽子者今日零雨爾落
アス カハ ユキメグリヲカノ アキハギ ハケフ フルアメニ チリ
カ スギナム （所未考 廻宮）

香過奈牟

右一首丹比眞人國人（クニト） 後嵯峨帝歸邪人
（鴈ハカリニテ ナク ノ ト鳴トヨメリ） （豐浦寺ハカリニヤドリシ ノ アキハ キヌ）

鶉鳴古郷之秋芽子乎思人共相見都流可聞
アキハ キヌ ヲ ホモフヒト、チアヒミツルカモ

秋芽子者盛過乎徒爾頭刺不揺還去牟跡哉
サカリスグルヲ イタヅラニ カザシテ カヘリナム ト ヤ

右二首沙彌尼等

大伴坂上郎女跡見田庄作歌二首（上三十市郡ヘヨセ下ル城上郡ト宇多郡ト二所ニアリ十市郡ハ城上ヨリ近シ此ニ鳴ハ城上ニ疑ナシ）

妹目乎始見之埼乃秋芽子者此月其呂波落（イモカメヲ ミツソメシ サキノ アキハキ コノツキコロハ チリ）

許須奠湯目（コスナユメ）

古名張乃猪養山爾伏鹿之嬬呼音乎聞之登（フルナハリノ サカヒノヤマニ フスシカノ ツマヨフコエヲ キクカト 吉集下音フナトヨムナレハ古ヲ下略ソ下ヨム語陵式吉隠陵 大和宇田郡ニモフナハリアリ）

聞恩佐（アカメ心ヲタヘス思フ）

巫部麻蘇娘子鴈歌一首（カムヘノマソラトメ）

誰聞都從此間鳴渡鴈乃嬬呼音乃之知左（タレキヽツ ナキワタルカリカ子ノ ツマヨフコエノ ユクヲシラサ）

寸（守 阿婆乃島井）

大伴家持和歌一首（スル）

聞津哉登妹之問勢流鴈鳴者真毛遠雲隠奈利（キヽツヤト イモノトハセル カリカネハ マコトモトホククモカクレナリ）

日置長枝娘子歌一首（ナカエノヲトメ）

秋付者尾花我上爾置露乃應消毛吾者所念（アキツケハ ヲハナカウヘニ オクツユノ ケヌヘクモ ワレハオモホユル）

香聞

大伴家持和歌一首（スル）

（始見之埼ヲホツミカサキトヨマレヤ家ノ字ホノ字ハヨク通ヒ穂積皇子アリ其処ヲ欽シ玉ヘルニヤ十市郡ニホツミ大坂ト云処アリミシメノ埼ナシ）

（続後拾雑上 ヨシノヽ人ノ知アキサレハ）

吾屋戸乃一村芽子乎念兒爾不令見散令
都類香聞

大伴家持秋歌四首

久堅之雨間毛不置雲隠鳴曽去奈流早田鴈
之咲

雲隠鳴奈流鴈乃去而將居秋田之穂立繁之
所念

雨晴而清照有此月夜又更而雲勿田葉引

右四首天平八年丙子秋九月作

藤原朝臣八束歌二首

此間在而春日也何處雨障出而不行者戀乍
曽乎流

春日野爾鐘禮零所見明日從者黄葉頭刺牟

大伴家持白露歌一首

高圓乃山

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

後撰秋中ヨミ人不知

ワカヤドノ ハナカウヘノ シラツユヲ
吾屋戸乃草花上之白露乎
モノニモ ガ(或) 草花ト書テヨメトヨムハ穂ハスキノ花ナレハ
不令消而玉爾貫
ケタス テタマニ ヌク
物爾毛我 (或)

大伴利上歌一首 (村ナヘシ)

アキノ アメニ ヌレツヽ ヲレハイヤヒドワキモカヤトシ
秋之雨爾所沾乍居者雖賤吾妹之屋戸志所
(我領ト云ル宿ニ)
ホユルカモ
念香聞

(天平十二年庚辰)
右大臣(諸兄公)橘家宴歌七首

クモノウヘニ ナクナル(カリノ ナキツルトヨメトホケドモ)
雲上爾鳴奈流鴈之雖遠君将相跡手許来津
クモノウヘニ カリノ サムキナヘハ キノ シタハ
雲上爾鳴都流鴈乃寒苗芽子乃下葉者黄変
(ウツロヒニケリ)
モミチケリ

凡秋中ヨミ人不知

兼宿ニテヨメル体ニ行幸ノ供奉ナトセルナルヘシ

カモ
可毛

右二首 此下作者ノ名ヲオトセリトミユ

コノヲカニ シヽ フミオコシ(ウカ不審) カ
此岳爾小牡鹿履起宇加
(ウカニヤラン)
ラク キミユヘニ コソ
良久君故爾許曽

右一首長門守臣曽倍朝臣津島 (オ二六ノ二ハ数馬)

アキノヽ ヲバナカ スユヲ キレナヘテ
秋野之草花我末乎押靡而
ルキミカモ
来之久毛知久

流君可聞 (マラウトヨクアレラン)
所
サナキテユキン カリガネサムミカモ
今朝鴈鳴而行之鴈鳴寒可聞此野乃淺茅ノ (淺ニテ) 色付
イロツキ

爾家類（ニケリル）

右二首阿倍朝臣蟲麻呂

朝皃開而物念時爾白露乃置有秋芽子所見（アサトアケテモノヲモフトキニシラツユノオケルアキハギミエツ、モトナ）

喚鷄本名（雖ヨヒニケトヨムカヒハツトスケド其字理ニテ合ルヨリ私ニ）

棹牡鹿之來立鳴野之秋芽子者露霜負而落（サヲシカノキタチナクノノアキハギハツユニモキヒテチリニモノヲ）

去之物乎

右二首文忌寸馬養（元正紀ニアヤノイミキムマカヒ）

天平十年戊寅秋八月二十日

橘朝臣奈良麻呂結集宴歌十一首（宿禰ヲ作ヘシ并六三十三并目六朝臣ハ此年号ヨリ後ノ）

不手折而落者惜常我念之秋黄葉乎挿頭鶴鴨（タヲラステチリナハヨシトワカモテルアレノオモヒシアキノモミチヲカサシツルカモ）

布勢朝臣人足（頻ニカヨヒヨメリシ人ニヤ）

零久仁（フラクニ）

右二首橘朝臣奈良麻呂

黄葉乎令落鐘禮爾所泊而來而君之黄葉乎（モミチハヲチラスナレニヌレテキテキミカ奈良ノ宿ニ君之黄葉乎）

挿頭鶴鴨（カサシツルカモ）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

右一首久米女王（垂仁紀）
布將見跡吾念君者秋山（アキヤマノ）乃水戸（ハツモミチハニテコソアリケレ）
家禮

右一首長忌寸奥麻呂（ナガノイミキオキマロ）
平山乃峯之黄葉取者落鐘禮能雨師無間零（ヒラヤマノミネノモミチバトレハチルシクレノアメシマナクフル）
良志

右一首内舍人縣犬養宿禰吉男（垂仁紀孝謙 桑帝）
黄葉乎落巻惜見手折來而今夜挿頭津何物（モミチハヲチラマクヲシミタヲリキテコヨヒカサシツナニカモ）

右一首縣犬養宿禰持男（モチオ）
可將念（モハム）

右一首縣犬養宿禰持男（モチオ）
足引乃山之黄葉今夜毛加浮去良武山河之（モカウキテイヌラムヤマガハノ）
瀬爾（チリウヨテヤイヌラント思ヒヤル）

右一首大伴宿禰書持
平山乎令丹黄葉手折來而今夜挿頭都落者（ナラヤマヲニホスモミチテタヲリキテコヨヒカザシツチラハ）
雖落（チルトモ）

右一首之手代人名（三平）
（御手代連ヲ呂垂武紀ニ出神代紀ニ太主命為御手代ト此神之末ニ姓氏録ニモ）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

新勅冬 池主

カミナツキ礼記月令孟秋之月雷始収声大夕ハ廿八物ナリ七九月マデハ高トニクナリ月六声ヲ収ムル神ナリ月ヲ以テカルミソラノ長月ノヲシテフハトヨメリカムトキカミトケ自霜露ヲ降ト云

ツユジモニ アヘル モミチヲヨソヒ
露霜爾逢有黄葉乎手折来而妹挿頭都後者
チル ナ モ

落十方
ヲチカタビト

右一首泰許遍麻呂

カミナツキシグレ ニ アヘル モミチハノ フカバ チリナムカセノ ヤニ
十月鐘禮爾相有黄葉乃吹者将落風之隨
(トモカクモ君カマニ〳〵心)

右一首大伴宿禰池主

モミチハノ スギヤ クヨシモ キモフビチアラコ ヨヒハ アケス モ アラ
黄葉乃過麻久惜美思共遊今夜者不開毛有
ヌカ

奴香
後代書ニカヤモアラナントスル同シ類ノ詞

右一首内舎人大伴宿禰家持

従天平十二年至十六年

以前冬十月十七日集於右大臣橘卿之舊宅宴飲也

天平十年正月 十五年廿月左大臣

大伴坂上郎女竹田庄作歌二首

オホトモノサカノウヘノ イホシロヲタヲ カリミタリタ フセニ ヨレハ ミヤコシ
大伴坂上郎女竹田庄作歌二首

然不有五百代小田乎苅乱田廬爾居者京師

オモホユ
所念

コモリク ノ ハツセノ ヤマノ イロツキヌ ヲ ラシモ
隠口乃始瀬山者色附奴鐘禮乃雨者零爾家

良思母

右天平十一年己卯秋九月作

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

佛前唱歌一首

見具禮能雨無間莫零紅爾丹保敝流山之落
（須弥山ノ西紅ノ心手極ホシ云ヘリ日没ノ赤色ヲ云ヘルカ心有ヘシ又ヨリ処有ヘシ可思）
ミグレノアメニナクナリソクレナヰニモ
巻惜毛

右冬十一月（聖武）皇后（光明皇后）宮之維摩講終日供養大唐
（大織冠始之苗裔ノ各王ハル維摩会ノ縁起ニハ名聞三国会曲
奥福ニ）

高麗等種種音樂爾乃唱此詞彈琴者市
（此註極可疑ノ文ニハ孝文仁記ニ
ミヘタル文心坂王ノ外ニ同名ノ人有歟）
原王忍坂王人ト赤麻呂也

歌子者田口朝臣家守河邊朝臣東人置始連長谷等十數
（廿三十二）

人也

大伴宿禰像見歌一首

秋芽子乃枝毛十尾二降露乃消者雖消色出
（新古今ニ家持ト家集ヨリトルハ誤ヘ）
目八方

大伴宿禰家持到娘子門作歌一首

妹家之門田乎見跡打出來之情毛知久照月
（俗本ニハシトスニ同）
夜暗

大伴宿禰家持秋歌三首

秋野爾開流秋芽子秋風爾靡流上爾秋露置

新古秋上　永村

續後撰　基俊
萩川石首
朝ツユミウツロヒヌレ

三秋　高円廣世
廣世乾田氏為
石川朝臣
續日本紀　令

リ

有
サヲシカノ　アサタツノヘノ　アキハギ　キニタマヅトミルマデ
神牡鹿之朝立野邊乃秋芽子爾玉跡見左右
オケル　シラツユ
置有白露

サヲシカノ　（才サニナケユカニ）　年奈和名ト眉リ鹿ハ胸ノ出タル毛ノ立ハ胸ミヅツキワクルヲ云ハ才九三出ル　只ム子ノ白キヲムナハケトイヘリ
牡鹿乃　（ム子）ワケニカモ　アキハギノ　チリスギニケル
狹尾牡鹿乃脅別爾可毛秋芽子乃散過鷄類
サカリカ　モイヌル
盛可毛行流

右天平十五年癸未秋八月見物色作

内舍人石川朝臣廣成歌二首

ツマコヒニ　シカナクヤマベノ　アキハギ　キハツユシモサムミサカリスキ
妻戀爾鹿鳴山邊之秋芽子者露霜寒盛須疑

由君
メヅラシキキミカイヘナルハ　シノ二帖
目頬布君之家有波奈須爲寸穗出秋乃過良
ク
又惜母
シレモ

神功皇后紀神託ノ詞ニ白幡萩穗出吾也　凡此集ニハ父スキトヨミテ一首モハメスキトヨメルナシ

大伴宿禰家持鹿鳴歌二首

ヤマビコノ　アヒトヨムマデ　テツマゴヒニ
山妣姑乃相響左右妻戀爾
シカナクヤマベニ　（狹尾ノ二ヒトリノミ右今集ニ無）
鹿鳴山邊爾獨耳
爲手

コノゴロノ　アサケニキケハ　アシヒキノ　ヤマヲトヨシサヲ
頃者之朝開爾聞者足日木笶山乎令響狹尾
シカナクモ
牡鹿鳴哭

北集ス、キノ正字ナレ
日本紀ニハ萩蘆ト
モ眉リ和名ニハ萩ト眉リ

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

右二首天平十五年癸未八月十六日作

大原真人今城傷惜寧樂故郷歌一首

秋去者春日山之黄葉見流寧樂乃京師乃荒（アル）良久（ラクノ）矣惜毛（ヲシマレモ）

大伴宿禰家持歌一首

高圓之野邊乃秋芽子比日之曉露爾開葉可聞（兼宣）

秋相聞

額田王思近江天皇作歌一首

君待跡吾戀居者我屋戸乃簾令動秋之風吹（スダレウコカシアキノカゼフク）

鏡王女作歌一首

風乎谷戀者乏風乎谷將來常思待者何如將嘆（カム）

此二首并四卷一重出

弓削皇子御歌一首

秋芽子之上爾置有白露乃消可毛思（ケカモシナマシ）戀（コヒツツアラスハ）不有者（死）

丹比真人歌一首　名闕（モラリ）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

宇陀乃野之秋芽子師（ウダノノヽアキハギシヽノ）
苦我者不益（クルニハニサシテアヲクハアラジ）

冊生女王贈太宰帥大伴卿歌一首（永人此比七年オハカリ〳〵昔ヲ思テ今ヲリシヲラ思テ今テトロヘタマヘルヲヨトフクミテヨメリ）

高圓之秋野上乃（タカマトノアキノヽウヘノ）
頭師瞿麥之花（ナデシコノハナ）
足日木乃山下響鳴鹿之（アシヒキノヤマシタトヨミナクシカノ）
石川賀係女郎歌一首

笠縫女王歌一首

神佐夫等不許者不有秋草乃結之紐乎解者（カミサブトキカスハアラスアキクサノムスヒシヒモヲトケハ）
悲哭

賀茂女王歌一首　長屋王之女。母曰阿倍朝臣也

秋野乎且往鹿乃跡毛奈久夕念之君爾相有今夜香（アキノヲアサユクシカノアトモナクユフヘニカオモヒシキミニアヘルコヨヒカ）

右歌或云掠橋部女王作。笠縫女王歌一首

遠江守櫻井王奉天皇歌一首（元明元正聖武紀）

長門乃浦之（ナガトノウラノ）
九月之其始鴈乃（ノハツカリノ）
使爾毛有念心者可聞来奴鴨（ツカヒニモアラモオモフコヽロハキコエコヌカモ）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

新拾離別　聖武天皇

天皇賜二報和御歌一首

キホノ　ウラノ　ソノナガハマニ　ヨスルナミ　シクシク　オモフコノコロ

大乃浦之其長濱爾縁流浪寛公乎念比日

遠江　大津者遠江国之海辺之名也

笠女郎贈大伴宿禰家持歌一首

アサコトニ　ワカミルヤドノ　ナデシコノ　ハナニモ　キミハ　アリコセヌカモ

毎朝吾見屋戸乃瞿麥之花爾毛君波有許世奴香裳

闕官

贈仲

山口女王贈大伴宿禰家持歌一首

アキハギニ　キリタルツユノ　カゼフキテ　オツルナミダ　トメカネツモ

秋芽子爾置有露乃風吹而落涙者留不勝都毛

贈宦

湯原王贈娘子歌一首

タマニヌキ　サデタマクラム　アキハギノ　ウレワヽラ

玉爾貫不令消賜良牟秋芽子乃宇礼和良

バニオケル　シラツユマデ

葉爾置有白露

坂上郎女ハ家持ノヲバニメシウトメ

大伴家持至二姑坂上郎女竹田庄一作歌一首

タマホコノ　ミチハトホケド　イモヲ　アヒミニ　イテヽソ　ワカコシ

玉桙乃道者雖遠愛哉師妹乎相見爾出而曽吾来之

大伴坂上郎女和歌一首

アラタヽノ　ツキタツヽテニ　キミヲシ　モヒソ

荒玉之月立左右二来不益者夢西見乍思曽

座カリ字ヽ　助

此ノ次雑歌

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

吾勢思（ワカセレ）

右二首天平十一年巳卯秋八月作

巫部麻蘇娘子歌一首（カンナギベノマソオトメ）

吾屋前乃芽子花咲有見来益今二日許有者（ワカヤドノハキノハナサケリミニキヤイマフツカハカリアラハ）（千里ナム戸官）

将落

大伴田村大嬢與妹坂上大嬢歌二首

吾屋戸乃秋之芽子開夕影爾今毛見師香妹（ワカヤドノアキノハキサクユフカケニイマモミテシガイモ）（カスカタヲ萩ニヨソヘ）

之光儀乎

吾屋戸爾黄蝶蝦手毎見妹乎懸管不忘日者（ワカヤトニモミツルカヘデミルコトニイモヲカケツヽユヒヌヒハ）（黄蝶如字連書ス仮ニ生数ニ当ヘタルモ此心ヘ）

無（ナシ）

坂上大娘秋稲蘰贈大伴宿禰家持歌一首（イチミテ色ノカヅラ製ス〳〵）（ホヅミ石寿点）（マケルカワサダノホニ）

吾之蒔有早田之穂立造有蘰曽見乍師匠波（ワカマケルワサダノホツミタテツクリタルカヅラソミツヽシノハ）（ホヅミスル之ヲ史記ニ本ヅキテアルトアリ）（世ワカ世業官中或仲奴官）

世吾背

大伴宿禰家持贈歌一首

吾妹兒之業跡造有秋田之（ワキモコカワサホノアキノタノワ）（ハツホ穂乃蘰難見不飽）（三代実録ヲ十八所鋳作之早穂二十文私云銭ヘ）

可聞（カモ）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

能因哥枕　四月　山藤　此二首更相再入ルベキ乍ラ

又報脫著身夜贈家持歌一首
（下ニ永宮ニ贈ル歌ヲ入ルベシ。）

秋風之寒比日下爾將服妹之形見跡可都毛
（アキカゼノ　サムキコノコロ　クダレタニ　キムベキイモカ　カタミト　カツモ）
思努播武
（シノバム）

右三首天平十一年己卯秋九月往來
（家持擬ノ證トスヘシ）

大伴宿禰家持攀非時藤花并芽子黃葉二
（トキナラヌフヂノメヅラ）
（嬢宮ニ）
物贈坂上大嬢歌二首

吾屋戶之非時藤之目頗布今毛見牡鹿妹之
（ワカヤドノ　トキナラヌフヂノメヅラシクイマモ　ミテシカ　イモカ）
（下ニ前宮ヲ）
咲容乎
（サケルカタチヲ）

（山岩藤乎小藤ノ類ナルヘシ）

ワカヤドノハギノシタハ、アキカゼモ　イマダフカ子ハ　カク
（ネ雷タヘテハイタキ姿ナリ）
吾屋前之芽子乃下葉者秋風毛未吹者如此
（イタクモノヲ　オモヘバ）
（此ヲ三ハ上ニイクリモ云ヘルカ如シ）

曾毛美照
（モ十四ニ十五ニテル）
（後撰ニ龍田ノ山ヲモミタスモノハ）

右二首天平十二年庚辰夏六月往來

大伴宿禰家持贈坂上大孃歌一首并短歌
（イタクモノ　オモヘバ　イハムスベモナシ）

叫ク物乎念者將言爲便毛奈之妹
（町ニ宮ニ）
（トワレテ　タノサバリテ　アレタニハニハニイデタチユベニハトコウチハラヒシロ）

與吾手携拂而出立夕者床打拂白
（テラ　タヅサハリ）
（常ニカリミ子ニ）
（ヤ　ソ子ニ　アリケル　アシビ）

細乃袖指代而佐寢之夜也常雨有家類足日
（タヘノ　ソデサシカヘテ　サ寢）
（ヤヘドリコソハヨ　ムカヒニソ　ヒト）

木能山鳥許曾婆鴈向爾將嬬問爲云打蟬乃人
（キノ）
（人サモアルマジキナルニ何トテヘタルソトヘ）

叫ミ句會ハベシ方ハカヘ〳〵トヨミ押ヘ思フトヲ心ヤ

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

有我哉如何爲跡可一日一夜毛離居而嘆戀
良武許已念者胸許曽痛其故爾情奈具夜登
高圓乃山爾毛野爾毎打行而遊徃籽花耳丹
穗日手有者毎見益而所思奈何爲而忘物曽
戀云物乎

反歌

高圓之野邊乃容花面影爾所見乍妹者忘不
勝裳

大伴宿禰家持贈安倍女郎歌一首

今造久遷能京爾秋夜乃長爾獨宿之苦左

大伴宿禰家持從久遷京贈留寧樂宅坂上大娘歌一首

足日木乃山邊爾居而秋風之日異吹者妹乎
之曽念

或者贈尼歌二首

手母須麻爾殖之芽子爾也還者雖見不飽情

新古ミレフツキ
ウエシ山田ミヒ久ハ
ヘテ又神スクス
秋ヌヌニケリ
俊成

ツクサム
將盡 サクラ待チラ喑ム
コロモテ ニ ミレフツクヘテ デ ウエシ タヲ
衣手爾水澁付左右殖之田乎引板吾波倍真
モレル クルシ (水上ノ垢ミサビトモ云金山ナトミテモ水ノ上ノアクナルヘシ田水ニ渋ラク如ク)
守有栗子 (車栗皆クルメクヨリ名ツク) 二首心得カタシ此尼ノ幼ヨリシタテ後宮侍ウルニヤコヽロマトヘルニヤ
尼作頭句并大伴宿禰家持所誂尼續末句
(是連考ヘシ)
景行紀ニ日本武尊ヨシニ似タルコトヲ考
等和歌一首
保佐河之水乎塞上而殖之田乎尼作苅流早
(井堰ヲセキアケテウエシタヲ)
飯者獨奈流倍思 家持續
冬雜歌

新勅賀 聖武天皇

新拾遺 大和 一云五十九

舍人娘子雪歌一首
(まホクチノ狼戸)
大口能眞神之原爾零雪者甚莫零家母不有國
(紫神紀)

太上天皇御製歌一首
元正
ハタスヽキ ヲバナサカブキクロキ モテツクレル ヤトハヨツヨ
波太須珠寸尾花遊聞黒木用造有室者迄萬代
(ホカタシトニシテクラシ云)

天皇御製歌一首
御仲
アヲニヨシ ナラノヤマニナルクロキ モテツクレル ヤトハヌレト
青丹吉奈良乃山有黒木用造有室戸者雖居
(都ニハ子相ニ應ハシ故)

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

座不飽可聞（アカヌ　カモ）

右聞之御（オホンノ）在左大臣長屋王佐保宅肆宴御（トヨアカリキコシメス）製（ウタ）

今昔物語云山階寺ノ西ニ佐保殿ト云処ハ昔大臣ノ次倫御家ニ然ハ此御流氏ノ長者トノ其佐保殿ニツキヲフニ先ニ廻ニテ絆レテ上リヲフ其ハ其御ニ祝其佐保殿ニコソシテヲルヘシ

太宰帥大伴卿冬日見雪憶京歌一首

沫雪保杼呂保杼呂（ダクダクシ）敷者平城京師所念可聞（カモ）

次二首ノ奇ト同時筑紫ニテノ奇ヘヲモレヨリ付テモ卿ノ意已出ヘ

太宰帥大伴卿梅歌一首

吾岳爾盛開有梅花遺有雪乎亂鶴鴨（ワカヲカニ　サカリニサケル　ウメノハナノコレル　ユキヲ　マガヘツルカモ）

冬サレトキコエ

雄略紀

角朝臣廣辨雪梅歌一首（ヒロワキノ）

沫雪爾（アハユキニ）所落開有梅花君之（フラレテサケルウメノハナキミガ）（置字乎）

牟可聞（ムカモ）

當集中雪ニヨリテ梅ノ咲ヤウニ云ナセルノ多

孝徳紀大化元年紀息通モ同

安倍朝臣奥道雪歌一首（オキミチノ）

棚霧合雪毛零奴可梅花不開間（タナキリノ　ウスクモリ心多ナ引ニ軽引ト昏リ　ユキモ　フラヌカ　ウメノハナサカヌ　カニ）

谷將見（タニミム）

履中紀元年紀氏女

若櫻部朝臣君足雪歌一首（ワカサクラベノアソミキミタリ）

天霧之雪毛零奴可（アマキラシ　ユキモ　フラヌカ）

雪ノ降ルヲ天霧ノ如シト詠ヘリ

愈然灼然ト今雪ノ皃ヲ如イヒシロクト云カケタリ

日本紀

灼

五柴爾雪零卷乎將（イツシバニ　ユキフリマカレ）

楢木ノ柴

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用

見

三野連石守梅歌一首（才十七 續日本紀才世九ニヨリ同人手別人手イレモリ）

引攀而折者可落梅花袖爾古寸入津染者雖（ヒキヨヂテヲラハチルヘクモウメノハナソテニオクレコキイレツソメハソム（紅梅子トモ）

巨勢朝臣宿奈麻呂雪歌一首

吾屋前之冬木乃上爾零雪乎梅花香常打見都流香裳（ワカヤドノフユキノウヘニフルユキヲウメノハナカトウチミツルカモ（戸官ソル）（花サカヌ諸木ヽ）

小治田朝臣東麻呂雪歌一首

（凡冬ヨミ人不知）

又ハタマノコヨヒノユキニイザヌレナアケムアレタニケナ夜干玉乃今夜之雪爾率所沾名将開朝爾消（ヌレテヽ神ナヘ）

忌部首黒麻呂雪歌一首

梅花枝爾可散登見左右二風爾亂而雪曽落（ウメノハナエダニカチルトミルマデニカゼニミダレテユキゾフリケリ）

久類

者惜家牟

紀少鹿女郎梅歌一首

十二月爾者沫雪零跡不知可毛梅花開有而（シハスニハアハユキフルトシラヌカモウメノハナサクヲホメラレテ）（後ヽ人春物緑ミ云思ヘリ）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

大伴宿禰家持雪梅歌一首

ケフフリシ ユキニ キホヒテ ワカヤトノ フユキノウメハ ハナサキニケリ

而日零之雪爾競而我屋前之冬木梅者花開

二家里

名処奈良長松寺ノ西ノ方九条ヨリ続日本紀ヲ十三出

御在西池邊肆宴歌一首

オケノヘノ ツツミノウヘノ フルユキハ イホヘフリシナアス サヘモミムト

池邊乃松之末葉爾零雪者五百重零敷明日左倍毋將見

右一首作者未詳但竪子阿倍朝臣蟲麻呂傳誦之

大伴坂上郎女歌一首

アハユキノ ツギテカクフレバ ウメノハツハナチリカスキナム

沫雪乃庇日續而如此落者梅始花散香過南

池田廣津娘子梅歌一首

ウメノハナ ヲラズモミツレド モコヨヒノ ハナニナホシカズケリ

梅花折毛不折毛見都禮禮都禮禮禮

大伴坂上郎女雪歌一首

松影乃淺茅之上乃白雪乎不令消將置言者

可聞奈吉

冬相聞

三國眞人足歌一首

高山之菅葉之努藝零雪之消跡可曰毛戀乃

繁鷄鳴

大伴坂上郎女歌一首

沼杯爾梅花浮念共飲而後者落去登母與之

和歌一首

官爾毛縱賜有今夜耳將飲酒可毛散許奈

由米

右酒者官禁制僻京中閭里不得集宴但親

親一二飲樂聽許者緣此和人作此發句焉

藤原后奉天皇御歌一首

吾背兒與二有見麻世波幾許香此零雪之懽

有麻思（カラヘニ）

池田廣津娘子歌一首

真木乃於上（ニ呆キ）零置有雪乃（タヘニ）敷布毛（フリオケル ニキノ ケクモ）所念可聞（オモホユルカモ サ）佐夜問吾背（トタヘワカセ 尓飛）

大伴宿禰駿河麻呂歌一首

梅花令落（ウメノハナチラス）冬風音耳（アラレノオトモ）聞之（キキ、ニ）吾妹乎（ワキモコ）見良久志吉（ミラクシ助ヨシ）

裳（モ）

紀女郎歌一首

鹿女郎（カノヲミナ）

久方乃月夜乎（ヒサカタノ ツキヨヲ）清美（キヨミ）梅花心開而（ウメノハナコヽロヒラケテ）吾念有公（ワカキモヘル キミ）（梅ヲヨセテ心ノサカルカヒラクヲ云）

大伴田村大娘與妹坂上大娘歌一首

沫雪之（アハユキノ）可消物乎（ケヌベキモノヲ）至今（イマニ）流經者（ナガラヘヌレバ）妹爾相曽（イモニアヘルソ）（或集ニ雪ノフルヲナカラルトイヘル今ニハヨセタル）

大伴宿禰家持歌一首

沫雪乃（アハユキノ）庭爾零敷（ニハニフリシキ）寒夜乎（サムキヨヲ）手枕不纏（タヽクヽカズ）一香聞（ヒトリカモ）將宿（マカデム）

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47
ガラス使用

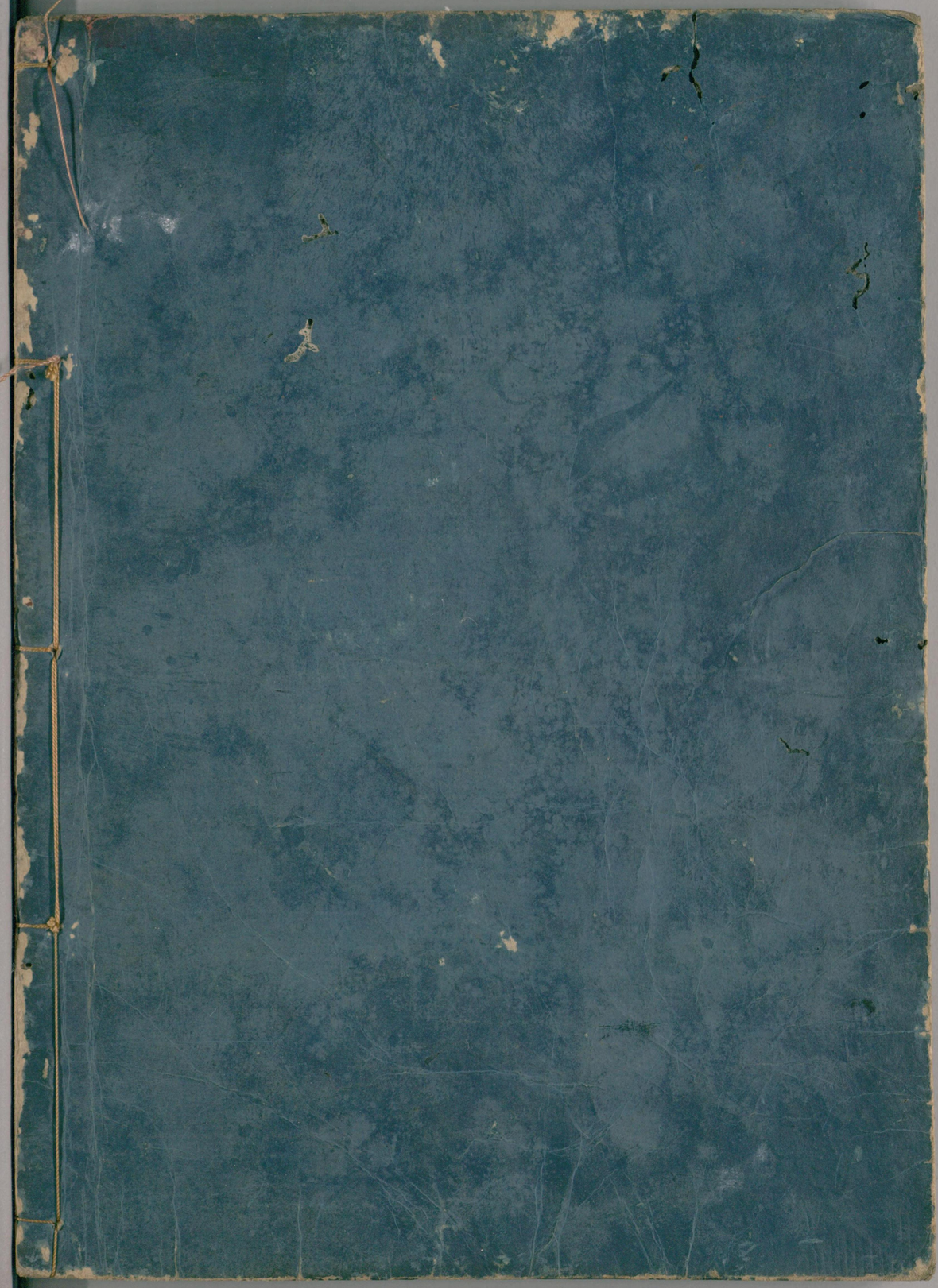
国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用　　挟み込み物

857
47

国立国会図書館　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『万葉和歌集』　請求記号 857-47

ガラス使用